

災害への備えは万全か？

目黒区の防災を問う



無所属
最年少

目黒区議会議員

かいでん和弘

30年以内に70%の確率で起こるとされる首都直下地震。目黒区の準備態勢を調査してみたところ、大変心もとない実態が判明しました。本号では、私が議会で指摘した問題点を3つピックアップします。

避難所のトイレ、足りない問題

目黒区の各避難所には、災害用トイレが次の数、備蓄されています。

下水道直結型トイレ 災害用組立トイレ 簡易便座・し尿収納袋



5基



1基



8台 800袋

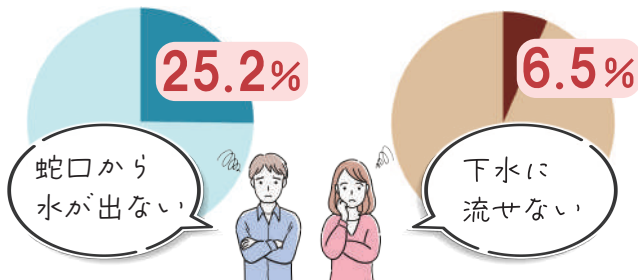
その他男性小用2基、幼児用便座2台

区では毎年様々な防災備蓄品を買い足し、災害への備えを強化していますが、災害用トイレの数はここ数年現状維持。それはつまり今の数で足りているということ...？ 調査してみました。

都内で最も被害が大きくなる都心南部直下地震が起こった場合、区内では次のグラフのエリアで上下水道が被害を受ける見込みです。

上水道断水率

下水道管きよ被害率



つまり区内38か所の避難所のうち、

断水 9~10か所 / 38
管きよ被害 2~3か所 / 38

上記の避難所では、施設の水洗トイレが使用できず、災害用トイレを使うことになります。

ではそのとき、避難所にはどれくらいのトイレが必要になるのでしょうか？

都心南部直下地震では、区内の避難所には1か所あたり1,022人が避難すると見込まれています。また国では、避難者が1日にトイレに行く回数の目安を“5回”としています。

そうすると避難所のトイレは1日に、

1,022人×5回=5,110回分

の排泄物を処理できないといけません。



しかし、避難所に今ある災害用トイレでは1日に

下水道直結型トイレ 災害用組立トイレ 簡易便座・し尿収納袋



2,400回分



480回分



800回分

合計3,680回分

しか処理できない計算!!

差し引き1,000回分以上トイレが不足していると指摘し、災害用トイレの早急な整備を求めました。

目黒区の回答

トイレを収納する防災倉庫のスペースの確保や、各家庭での簡易トイレの備蓄の啓発などとあわせて、避難所のトイレの計画を検討します。

ブログではさらにやばいシナリオも解説

- 下水道が被害を受けると4,000回分不足？
- 在宅避難者が避難所トイレに押し寄せる？



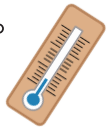
避難所、寒い問題

数年前、全小・中学校の体育館に発電・蓄電装置のついたガス式のエアコンが導入されました。



これにより、震災で停電したとしてもガスさえ通じていれば体育館の空調が使えます。

でも…… 東日本大震災では1週間止まった地域もガスが止まることも当然あり得ますし、体育館以外の各教室のエアコンにはそのような機能はありませんので、停電した場合エアコンは使えません。



傷病者用スペースの保健室は寒いかもしれませんね…

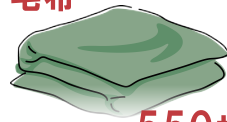
さらなる寒さ対策が必要です!!

目黒区の回答

毛布の十分な備蓄の確保と備蓄スペースの確保を基本としつつ、企業と協定などを締結することで燃料式ストーブを災害時に調達できる仕組みを構築することができないかなど、検討していきます。

各避難所には寒さ対策のために

毛布



550枚

サバイバルブランケット



1,000枚

が用意してあり、区は次のように説明します。

目黒区

避難初日で足りなくなる状況ではありません。

本当?

国の基準では、毛布は避難者一人につき2枚必要とされているので、2種類合計1,550枚の備蓄では、避難者1,000人に対して不十分です。さらに床に敷くマットは、わずか100枚ほどしか用意がなく、圧倒的な不足が予想されます。

ペットの避難場所、雨ざらし問題

区では、全避難所でペットとの同行避難を受け入れていますが、2019年時点では大半の避難所が、ペットの居場所を“屋外”に設けていました。

しかも 雨風を防げるようにと、区がせっかく40張買いそろえた動物用テントも、区内2か所の倉庫にまとめて置いてあるため、発災後すぐに各避難所へ届けることはほぼ不可能です。

つまり発災直後は雨ざらし



そこで4点、要望しました。



- 1 居場所を屋内に確保すべく調整を
- 2 どうしても利用できる部屋が無いのなら住区センターなどの周辺公共施設の活用を
- 3 他の公共施設の確保も難しければ区民ボランティアを募集し、個人宅を居場所に
- 4 いずれにしても対策に時間がかかるなら居場所が屋内外どちらか、避難所ごとに周知を

ボランティアは世田谷区で実際に募集していて、動物の居場所提供に35件も申し出があったそうです。



発行

目黒区議会議員 かいでん和弘

議員に相談って、ちょっと怖い？
いいえ、SNSでお気軽にどうぞ！

区政の最新情報を発信！
コメントでの意見交換も大歓迎です。



(旧 Twitter)



政治について、
動画でコンパクトに
発信します。



区政に関するご相談に、
本人が返信します(匿名可)。



かいでん
改田和弘

無所属
現職最年少30歳

Profile

経歴

区立原町小 ▶ 桜修館(旧・都大附)1期生 ▶
北海道法学部 ▶ コンサル勤務 ▶ 区議2期

資格

防災士・剣道(2段)

好きなもの

チェロの演奏・野球観戦・日本史・鉄道

お問い合わせ先

☎090-3145-1156 ✉kazukaiden@gmail.com

〒152-0013 目黒区南1-1-11